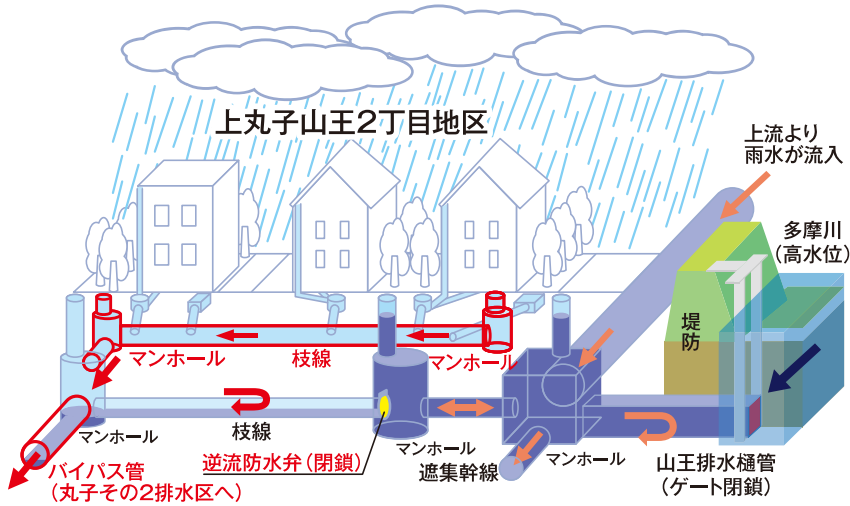


排水樋管周辺地域における段階的な浸水対策

令和元年東日本台風により発生した深刻な浸水被害を受け、本市では、検証を実施し、課題の解決に向け、浸水被害があった山王、宮内、諏訪、二子、宇奈根の5箇所の排水樋管において、排水樋管ゲートの改良や排水ポンプ車の導入など短期対策を実施しました。今後も、段階的な浸水対策を順次実施し、さらなる被害の軽減を図ります。

当面の対策

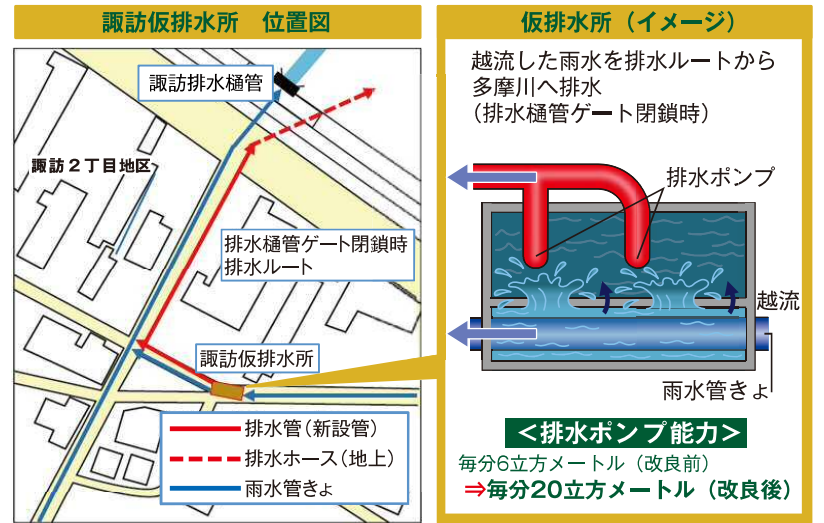
山王排水樋管周辺地域において、地盤の低い上丸子山王町2丁目地区の雨水を、隣接する丸子その2排水区へ導水させるバイパス管を整備します。この対策により、令和元年東日本台風当時の浸水に対して、被害を解消することができます。



バイパス管整備による対策の仕組み

取組時期:令和5年度の台風シーズンまでに整備完了予定

諏訪排水樋管周辺地域において、既存仮排水所のポンプ能力の増強を行います。また、排水樋管ゲートを閉鎖した場合においても、多摩川へ排水することができる送水ルートへ改良します。



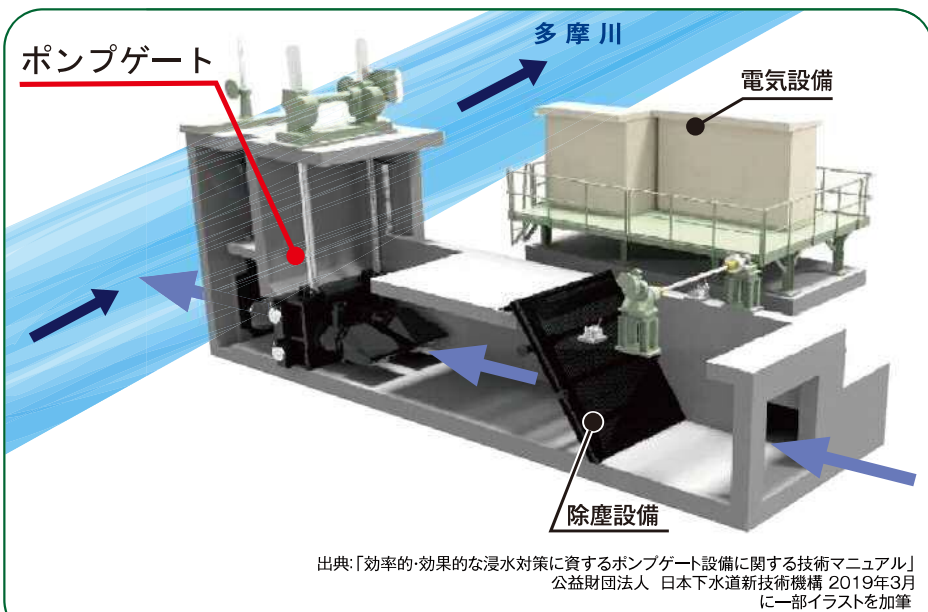
諏訪仮排水所の改良

取組時期:令和3年度中に整備完了予定

中期対策

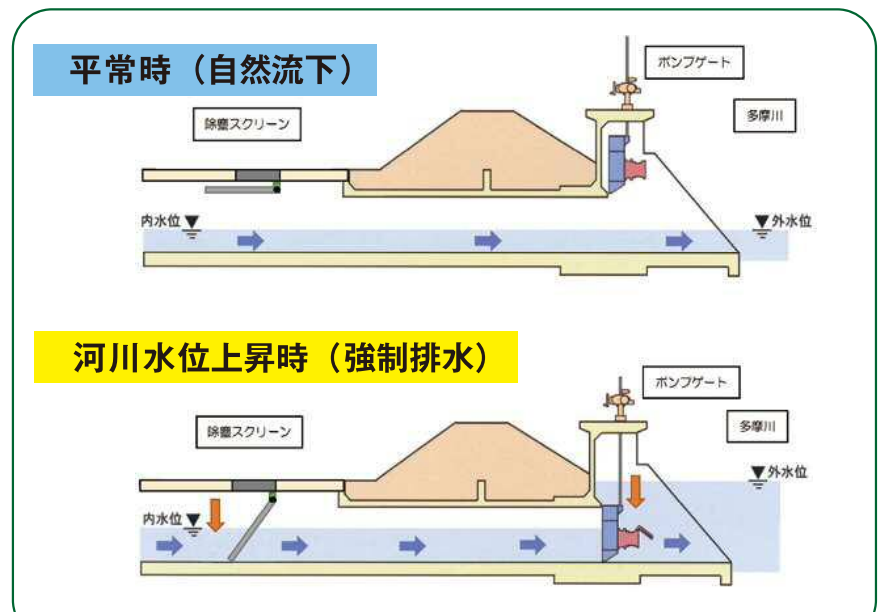
宮内、諏訪、二子、宇奈根排水樋管周辺地域において、さらなる浸水被害の軽減を目指し、多摩川の水位上昇に伴う逆流防止と、多摩川への雨水排水を同時に実施することができる、ポンプゲート設備による対策を基本とした検討を進めます。

中期対策により、令和元年東日本台風当時の浸水に対して、一定の軽減効果が見込めますが、さらなる被害の軽減に向けて、引き続き長期的な対策の検討を進めていきます。



出典:「効率的・効果的な浸水対策に資するポンプゲート設備に関する技術マニュアル」公益財団法人 日本下水道新技術機構 2019年3月に一部イラストを加筆

ポンプゲート設備の構成



ポンプゲート設備の運用(イメージ)

長期的な対策

長期的な対策として、浸水被害があった複数の排水区を一体的に捉え、排水できない雨水を新設する流下幹線で集め、新設または増設するポンプ場から多摩川へ排水するなど、複数の対策を組み合わせた対策について、検討を進めます。

この長期的な対策により、令和元年東日本台風当時の浸水に対して、被害を解消することができますが、大規模な用地確保や、整備費用と期間を要するなど、大きな課題があることから、引き続き検討が必要です。

流域治水

「多摩川水系流域治水プロジェクト」に基づき、国や流域自治体が一体となり、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」「被害対象を減少させるための対策」「被害の軽減・早期復旧・復興のための対策」を推進し、河川水位の低下などの流域全体の安全度の向上と被害の軽減を図ります。

排水樋管周辺地域における段階的な浸水対策等の詳細はウェブサイトをご覧ください。 [川崎市上下水道局 段階的な浸水対策](#)